

105-32

問題文

抗不安作用とともに、ヒスタミンH₁受容体の遮断による抗アレルギー作用を併せもつのはどれか。1つ選べ。

1. エチゾラム
2. ヒドロキシジン
3. エスチロプラム
4. タンドスピロン
5. クロルジアゼポキシド

解答

2

解説

選択肢 1 ですが

エチゾラム（デパス）はベンゾジアゼピン（Bz）系です。ヒスタミン受容体遮断ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は妥当な記述です。

ヒドロキシジン（アタラックス）は、非Bz系の抗不安薬です。抗ヒスタミン薬です。

選択肢 3 ですが

エスチロプラム（レキサプロ）は、SSRI（Selective Serotonin Reuptake Inhibitors）です。セロトニンの再取り込みを選択的に阻害します。ヒスタミン受容体遮断ではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

タンドスピロン（セディール）は、セロトニン5-HT_{1A}受容体を選択的に刺激することで抗不安作用を示します。ヒスタミン受容体遮断ではありません。よって、選択肢 4 は誤りです。（）

選択肢 5 ですが

クロルジアゼポキシド（＠コントロール）は、ベンゾジアゼピン系抗不安薬です。ヒスタミン受容体遮断ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。（）

以上より、正解は2です。